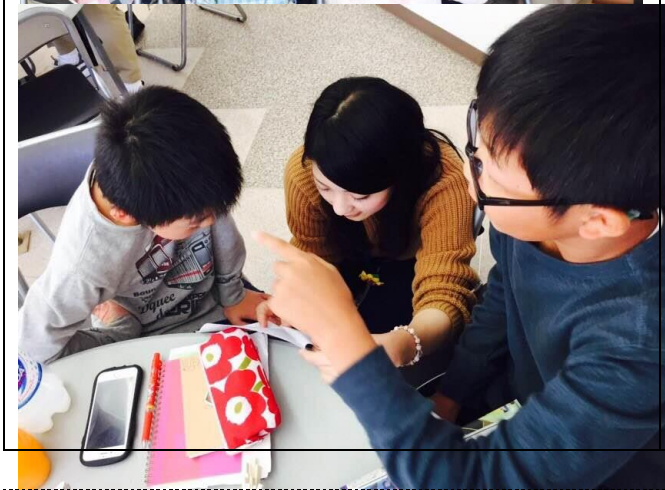


平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	関西学院ヒューマンサービスセンター
活動テーマ	佐用町久崎における『災害ツーリズム』創設のための防災意識の共有



兵庫県佐用町は、平成 21 年に台風 9 号の水害により、大きな被害を受けました。その中でも最も被害が大きかった久崎地区で、私たちは活動を行ってきました。その中で、地域の高齢化・過疎化が進んでいることや、水害から 5 年以上が経ち、防災意識が希薄化しているのを感じ、昨年度より、水害や防災について話し合う場を設けることによって、住民の防災意識を高め次の災害に備え安心して暮らせる地域づくりにつなげたいという思いから、『災害ツーリズム』という新たな取り組みをスタートしました。

昨年度は『思い出す』をテーマに、水害の経験を住民の方にお話していただく活動を行いました。今年度は、『共有する』ということテーマに、私たち学生と久崎に住む小学生と一緒に防災について考えました。昨年度住民の方にお話しいただいた水害の体験談を、小学生にもわかりやすいよう、絵本形式の冊子にまとめ、それを使って地域の小学生を対象とした防災イベントを開催しました。絵本の読み聞かせのあと、その内容に関する〇×クイズを出題し、小学生自身の水害の記憶や、保護者や学校から水害についてどのように教わっているかをお話してもらいました。水害当時の記憶があまりない中で、積極的に当時のことを思い出そうとする姿勢が見られ、小学生にとって、水害についての知識を得て、改めて次の水害への備えを考える良い機会になったと考えます。また、子供たちと町歩きを行い、当時氾濫した川や、浸水のあとなどを見て回り、『防災マップ』を作成しました。完成したマップは住民の方も見られるようにコミュニティカフェの壁に掲示しました。このことによって、子供たちだけでなく、保護者の方や、カフェにいらっしゃるお年寄りなど、幅広い世代に水害の記憶や知識を共有することができたと考えます。